

Fukuoka City Public Library Movie Hall

Ciné-là

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

シネラ・ニュース
June 2024fiaf 国際 フィルム・アーカイブ連盟—FIAFは
映画の保存を目的とする国際団体です。
福岡市総合図書館はFIAFの会員です。

6

モンゴルの息子

新企画
通年上映**6月のすべての上映**

◎観覧料:大人=500円／大学生・高校生=400円／中学生・小学生=300円

福岡市在住の65歳以上の方・「わたすクラブ」会員=250円(要証明書・会員証原本提示)

障がい者の方および介護者の方1名=無料(要証明書提示)

◎定員(242席、車椅子席4席)・各回入替制／当日券のみ・各回上映の1時間前から販売

企画
上映

蔵出しモンゴル映画 6作品

～1993年アジアフォーカス・福岡映画祭より

総合図書館で保管しつつも長年上映の機会がなかった貴重なモンゴル映画を上映します。◎すべて総合図書館収蔵作品／35ミリフィルム上映

会期：6/5(水)～6/16(日)
※休館日・休映日除く

9 日
11:00
14 金
14:00

モンゴルの息子



モンゴル最初の長編劇映画。当時モンゴルはソ連の影響下にあり、本作はソ連資本、ソ連人監督により製作されている。主人公は気のよいモンゴル人青年ツェウェーンで、彼は恋敵の中国人に騙され、内モンゴルに旅に出る。ところが、内モンゴルで日本軍の侵略の意図を知ったツェウェーンは、急ぎウランバートルに戻るのだった。

監督：I. トラウベルク
出演：Th. ツェウェーン
1936年／モンゴル／白黒／89分

5 水
14:00
16 日
11:00

ゴビの蜃気楼



ウランバートルの大学を出た青年が、僻地で働くことを志望して、ゴビの砂漠のなかにある中学校の教師として赴任していく。社会主義時代の作品であるが、教条的な性格は薄く、小さな町を舞台にしたのびやかな喜劇の傑作である。監督はモンゴル映画界の長老の人物とされるR. ドルジバラム。

Mirage above the Gobi Desert

監督：R. ドルジバラム
出演：G. エルデニホトホ
1980年／モンゴル／カラー／100分

6 木
14:00
15 土
14:00

牙



ドルジットは子どもがほしいが、子どもが産まれてもすぐ死んでしまう。セデット坊さんの占いによりやっと生まれた息子のモーノ・ホイは、優秀な成績で外交官養成学校に入るのだが、殺人を犯して死刑に処せられる。モンゴルの宗教的な迷信や信仰が色濃く反映し、やや難解だがモンゴル色の強い作品。

監督：バヤンツアガーネ・バートル
出演：D. デンスマー
1991年／モンゴル／白黒／90分

7 金
14:00
16 日
14:00

枷(かせ)



トグルドゥルは父の死後、家出をしてホームレスの少年たちの仲間に入っている。大人たちの泥棒の手下になり、手に入れた金で父親の墓を作りたいと思っている。ドキュメンタリー・タッチで物語は進み、生き生きとした少年たちの演技が際立つ。主人公のゴンポオチルは高く評価され、1992年モンゴル児童機関金メダルを獲得した。

監督：ナンサリーン・オランチメグ
出演：S. ゴンポオチル
1991年／モンゴル／白黒／75分

8 土
14:00
13 木
14:00

至福の樹



モンゴルでは活仏を探す旅が行われるが、これは自分が活仏だと思う少年と母親の物語である。しかし活仏探しの一行は少年にきづかずに通り過ぎ、そのため少年はおかしくなってしまう。絶望した母親は心する決心をする。ゴビの草原を舞台にした悲劇だが、純粋な美しさが胸に迫る作品である。

監督：N. ニヤムダワー *An Unfortunate Fortune*
出演：E. モンフェルデニ
1992年／モンゴル／カラー／67分

9 日
14:00
12 水
14:00



17世紀のモンゴル。モンゴルはいくつかの国に分裂しており、統一を失っていた。この時期活仏となつたザナバザルは、宗教の力でモンゴルを精神的に統一しようとした人物であり、同時に偉大な芸術家でもあった。本作はザナバザルの苦難の生涯を描いた歴史大作である。

A Saint in a Turbulent Age

監督：Ts. ツェレンドルジ、L. シャラブドルジ
出演：T. エルデニオチル
1992年／モンゴル／カラー／134分

イベント上映

アジア映画の巨人 佐藤忠男の出発点探求

日本を代表する映画評論家であり、アジア映画の日本への紹介に尽力した佐藤忠男。フィルムアーカイヴ初期の収蔵作品から、佐藤忠男のアジア映画への眼差しを今改めて検証します。

会期：6月1日(土)、6月8日(土)、6月15日(土)
◎すべて総合図書館収蔵作品／35ミリフィルム上映

協力：グループ現代

トークイベント 6月1日(土)16:00-17:00予定(入場無料)

登壇者：寺崎みづほ氏(ドキュメンタリー映画「SATO TADAO」監督／グループ現代)

1 土
11:00
8 土
17:00

魔法使いのおじいさん

The Boogey-Man

田舎の村に魔法使いと言われるおじいさんがやってくる。子どもたちはおじいさんと仲良くなつて遊ぶ。そしてお別れの日、おじいさんは子どもたちを動物に変身させてあげる。映画の出演者は主演のラーンムニがプロの舞踊家である以外はすべて素人。おとぎ話のようなファンタジックな作品で、見るものをやさしい世界に誘ってくれる。

1979年／インド／カラー／89分／日本語字幕付き

監督：G. アラヴィンダン
出演：ラーンムニ、アショーカン

1 土
14:00
15 土
17:00

曼陀羅

Mandala

若い禅僧ボブンは仏教に対して懷疑の念で苦しんでいた。ある日ボブンは中年僧のジサンと出会い、二人で旅をする。ジサンは酒を飲むなど破天荒な僧だったが、仏教界の矛盾や偽善を批判する彼の言葉にボブンは真実を見出していく。イム・グンテク監督が世界に知られるきっかけとなった作品。1981年ベルリン国際映画祭審査員特別賞受賞。

1981年／韓国／カラー／110分／日本語字幕付き

通年
上映

アーカイヴ 発見

収蔵作品のなかから、実験映画、日本・アジアの現代映画など機会の少ないレア作品を土曜の夕方に上映します(一部期間を除く)。今月は、常に先鋭的な映画表現を模索した、日本を代表する実験映画作家・松本俊夫をピックアップします。

22 土
17:00
松本俊夫集 A

【松本俊夫監督4作品／計68分／16ミリフィルム上映】

西陣



1961／日本／白黒／25分

石の詩

1963／日本／白黒／24分

エクスタシス

1969／日本／白黒／11分

メタスタシス(新陳代謝)

1971／日本／カラー／8分

29 土
17:00
松本俊夫集 B

【松本俊夫監督7作品／計55分／16ミリフィルム上映】

モナ・リザ



1973／日本／カラー／3分

色即是空

1975／日本／カラー／8分

アートマン

1975／日本／カラー／12分

エニグマ(謎)

1978／日本／カラー／3分

リレーション(関係)

1980／日本／カラー／8分

SHIFT

1982／日本／カラー／9分

エングラム(記憶痕跡)

1987／日本／カラー／12分

企画
上映

中央アジア映画特集

日本から遠く離れた中央アジア各国で制作された作品を特集します。

◎すべて総合図書館収蔵作品／特に表記ないもの35ミリフィルム上映

会期:6/19(水)~7/7(日)

※休館日・休映日除く

23日 11:00 少年と狼

Wolf Cub among People



11歳のサマトは祖母と二人暮らし。ある日サマトは森で狼の子どもを見つけて家に連れて帰る。家族に反対されてもサマトは外でこっそりと狼を飼うのだった。本作の製作は丁度ソビエト連邦の崩壊の時期と重なっており、ソ連映画として製作され、最終的にはカザフスタン映画となった。瑞々しいタッチと抒情性を感じる作品である。

監督:タルガット・テメノフ

出演:アイキン・カリコフ、ヌルジュマン・イフティムバエフ

1989年 / カザフスタン / カラー / 83分 / 日本語・英語字幕付き

23日 14:00 演説者

7/5金 14:00



1915年のタシケント。イスカンデルはイスラムの戒律に従い、死んだ兄の妻二人を引き取る。ところが17年にロシア革命が起こり、一夫多妻制が禁止される。困ったイスカンデルだが、彼は共産党の中で意外な才能を発揮する。共産党員でありながら3人の妻を愛そうとする主人公の行動はコミカルで、世界中の映画祭で好評を博した作品。

監督:ユスフ・ラジコフ

出演:バッハジル・アディロフ、ローラ・エルトエヴァ

1999年 / ウズベキスタン / カラー / 83分 / 日本語・英語字幕付き

29土 14:00 泣かないで

7/4木 14:00



青年ムハマドは故郷のウズベキスタンの村に帰ってくる。彼はモスクワで音楽家として成功したと思っていたが、実はギャンブルの借金から逃げてきたのだった。監督は韓国人だが、モスクワで映画を学んでおり、さらに監督デビューの本作はウズベキスタンで撮影という異色の作品である。

監督:ミン・ビョンファン

出演:ムハマド・ラヒーモフ、エルキン・カミーロフ

2001年 / 韓国 / カラー / 109分 / 日本語・英語字幕付き

通年
上映

午前11時の 日本映画・アラジア映画

6木 11:00

7金 11:00

8土 11:00

めし



岡本初之助と妻の三千代の夫婦は大阪でつましく暮らしていた。恋愛結婚して5年だが、最近は夫婦の会話も少なくなっていた。ある日初之助の姪の里子がやってくる。奔放な里子に振り回される三千代の不満はつり、働くことを考える。林美美子の遺作の映画化。成瀬監督が原節子や上原謙を初めて起用した作品で、50年代の日本映画黄金時代の幕開けを告げる秀作となった。

1951年 / 東宝 / 白黒 / 97分 / 35ミリ

13木 11:00 14金 11:00 15土 11:00

Tiga Dara | The Three Sisters



三人姉妹
デジタル修復版

ヌン、ナナ、ネニーは美しい3人姉妹。母親を早くに亡くし長女のヌンが母親代わりに家族の世話をしていた。父親はヌンの結婚相手を探すのだが、なかなかうまく

行かない。「インドネシア映画の父」と言われるウスマル・イスマイル監督の大ヒット作品。10曲以上の音楽が挿入されたミュージカル・コメディである。

1950年 / インドネシア / 白黒 / 114分 / リマスター版DCP / 日本語字幕付き

21金 14:00 盗まれた花嫁

7/7日 11:00 Pure Coolness



2007年 / キルギスタン = カザフスタン / カラー / 100分 / 日本語・英語字幕付き

アセームとムラットは結婚を考える。ムラットはアセームを親に紹介しようと、出身の村に彼女を連れていく。そこはキルギスの伝統が色濃く残る村だった。他の部族や村から女性を奪って結婚する「略奪婚」を描いた作品。古くからあるキルギスの風習だが、監督は野蛮なものとしながらも一方的に否定はしない。随所に盛り込まれるコミカルなシーンが本作を明るくしている。

監督:エルネスト・アブディジャパロフ

出演:テインチティック・アビルカシモフ、アセーム・トクトエコフ

20木 14:00 トゥルー・ヌーン

7/6土 14:00 True Noon



2009年 / タジキスタン / カラー / 83分 / 日本語・英語字幕付き

タジキスタンのサフェドビ村。年老いたキリルは助手のニルファと気象観測所を守っていた。ところがある日軍隊が来て、有刺鉄線で村を分断、そこが国境線となることを宣言する。そして地雷を埋め往来を禁止してしまう。政治の理不尽さに翻弄される人々を描いた感動作。福岡国際映画祭観客賞受賞。

監督:ノシール・サイードフ

出演:ユーリー・ナザーロフ、ナシバ・シャリポワ

19水 14:00 山嶺の女王

28金 14:00 クルマンジャン

Kurumanjan Datka Queen of the Mountains



2014年 / キルギスタン / カラー / 136分 / DCP上映 / 日本語・英語字幕付き

19世紀初頭のキルギス。モンゴル族の娘クルマンジャンは、親が決めた結婚相手を嫌い、族長のアルムベクと結婚する。アルムベクはキルギス統一の夢を抱いていた。クルマンジャン・ダトカ(1811-1907)は、キルギスの「國の母」といわれる歴史上の人物。本作は彼女の生誕200年を記念して、国家規模のプロジェクトで作られた歴史大作。

監督:サディク・シエル・ニヤーズ

出演:エリナ・アバイ・キズィ、ナジラ・マムベトワ

22土 14:00 父への電話

27木 14:00 A Call to Father



2017年 / カザフスタン / カラー / 103分 / DCP上映 / 日本語・英語字幕付き

カザフスタン北部の村。6歳の少年エルケンは医者からADHD(注意欠陥多動性障害)の兆候があると診断される。さらに兄を不慮の事故で亡くし、母親は家を出る。エルケンと父親の二人の生活が始まる。荒廃し何もないような村である家族が離散していく物語。父と息子の交流がささやかな希望として描かれる。

監督:セリック・アブリモフ

出演:ズイガー・ミルザベック、エルブルート・オスバンク-ロフ

福岡市総合図書館が収蔵する映画のなかから、日本・アジア各国の選りすぐりの古典映画や名作映画を木曜、金曜、土曜に週替わりで上映します。

classics

20木 11:00 おしどりうたがっせん

鴛鴦歌合戦



監督:マキノ正博

出演:片岡千恵蔵、志村喬

21金 11:00

22土 11:00

長屋に住む浪人・浅井の隣には骨董狂いの志村狂斎

が住んでいた。狂斎の娘のお春は浅井の事が好きだったので、香川屋の娘おとみもまた浅井が好きだった。ところが骨董好きの殿様がお春を見そめてしまう。陽気な歌と踊りに溢れた時代劇ミュージカルの傑作。ディック・ミネも素晴らしいが志村喬の歌が聴けるのも見所である。

※作品が古いため状態が良くありません。ご了承下さい。

1939年 / 日活 / 白黒 / 69分 / 35ミリ

27木 11:00 14金 11:00 15土 11:00

十月になれば



監督:ダン・ニヤット・ミン

出演:レ・ヴァン

28金 11:00

29土 11:00

長く戦地から戻らない夫を訪問したズエンは、そこで夫の計報を知る。彼の帰りを待つ家族を悲しませたくない一心で、彼女は夫からの手紙を偽装して生きているかのように見せかける。心優しい詩情豊かな作品。ベトナム映画界を代表する巨匠ダン・ニヤット・ミン監督の代表作の1本。本作の題名には、十月は実りの時であり、今は苦しくてもきっと実りの時が来るという意味が込められている。

1984年 / ベトナム / 白黒 / 85分 / DCP / 日本語字幕付き

How I Long for October

6月

上映スケジュール



1 土	11:00 魔法使いのおじいさん	14:00 曼陀羅	16:00 トークイベント			
2 日						
3 月						
4 火						
5 水		14:00 ゴビの蜃気楼				
6 木	11:00 めし	14:00 牙				
7 金	11:00 めし	14:00 枷(かせ)				
8 土	11:00 めし	14:00 至福の禍	17:00 魔法使いのおじいさん			
9 日	11:00 モンゴルの息子	14:00 風雲の聖者				
10 月						
11 火						
12 水						
13 木	11:00 三人姉妹 デジタル修復版	14:00 至福の禍				
14 金	11:00 三人姉妹 デジタル修復版	14:00 モンゴルの息子				
15 土	11:00 三人姉妹 デジタル修復版	14:00 牙	17:00 曼陀羅			
16 日	11:00 ゴビの蜃気楼	14:00 枷(かせ)				
17 月						
18 火						
19 水		14:00 山嶺の女王クルマンジャン				
20 木	11:00 おしどり 鶯鳴歌合戦	14:00 トゥルー・ヌーン				
21 金	11:00 おしどり 鶯鳴歌合戦	14:00 盗まれた花嫁				
22 土	11:00 おしどり 鶯鳴歌合戦	14:00 父への電話	17:00 松本俊夫集A			
23 日	11:00 少年と狼	14:00 演説者				
24 月						
25 火						
26 水		14:00 少年と狼				
27 木	11:00 十月になれば	14:00 父への電話				
28 金	11:00 十月になれば	14:00 山嶺の女王クルマンジャン				
29 土	11:00 十月になれば	14:00 泣かないで	17:00 松本俊夫集B			
30 日	自主上映／福岡映画サークル協議会例会					
7/1 月						
2 火						
3 水		休 映 日				
4 木	11:00 晩春	14:00 泣かないで				
5 金	11:00 晩春	14:00 演説者				
6 土	11:00 晩春	14:00 トゥルー・ヌーン	17:00 田園に死す (7月号に掲載)			
7 日	11:00 盗まれた花嫁	14:00 山嶺の女王クルマンジャン				

イベント上映／アジア映画の巨人・佐藤忠男の出発点探求

企画上映／蔵出しモンゴル映画6作品

企画上映／中央アジア映画特集

通年上映／午前11時の日本映画・アジア映画クラシックス

通年上映／アーカイブ発見

自主上映のお知らせ

■劇団スリッパーズ自主制作映画上映会

上映作品：「作家の男と水芸の女」(65分)

日 時：6月2日(日)

①10:30 ②12:00 ③13:30 ④15:00

料 金：当日一般1,000円／学生800円／小中学生500円

主 催：劇団スリッパーズ TEL:090-6291-0610

※詳細については直接主催者にお問い合わせください。

自主上映のお知らせ

■福岡映画サークル協議会例会

上映作品：「シスター 夏のわかれ道」

(2021年／中国／127分／監督：イン・ルオシン)

日 時：6月30日(日) ①11:00 ②14:00

料 金：前売り1,300円／当日一般1,500円

シニア 1,200円／障害のある方 1,000円／中高生 800円

主 催：福岡映画サークル協議会 TEL:092-781-2817

※詳細については直接主催者にお問い合わせください。

INFORMATION

■映像ホール利用申し込みについて

映像ホール・シネラは自主上映(非営利に限る)を希望される方について、下記のとおり申し込みの受付を行います。

利 用 申 込 対 象 期 間／2025年3月～2025年6月

※別途配布の申込用紙に対象日を記入しています

申込み受付期 間／5月19日(日)～6月7日(金)※休館日除く

抽 選 日／6月15日(土)午前11時より

抽 選 会 場／福岡市総合図書館3階 第5研究室

利 用 申 込 書／福岡市総合図書館で5月19日から配布する申込用紙をおだしください

Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là
福岡市総合図書館映像ホール・シネラ

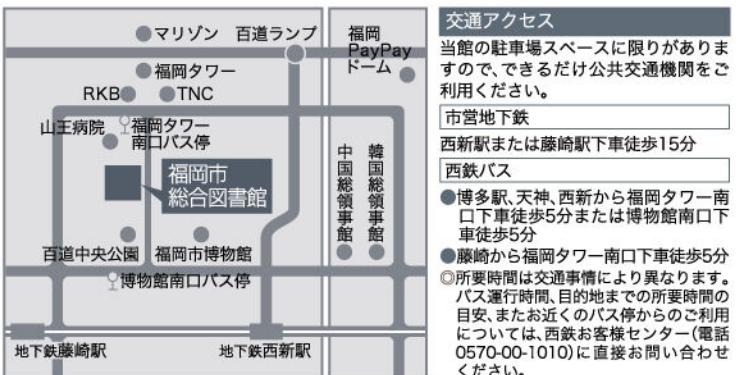
〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館(代表) Tel.092(852)0600 Fax.092(852)0609

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ ホームページ



うえぶシネラ <http://www.cinela.com>



交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

市営地下鉄

西新駅または藤崎駅下車徒歩15分

西鉄バス

●博多駅、天神、西新から福岡タワー南口下車徒歩5分または博物館南口下車徒歩5分

●藤崎から福岡タワー南口下車徒歩5分

○所要時間は交通事情により異なります。バス運行時間、目的地までの所要時間の目安、またお近くのバス停からのご利用について、西鉄お客様センター(電話0570-00-1010)に直接お問い合わせください。

発行：映像ホール・シネラ実行委員会

グリーン購入法に適合している用紙を使用しています